■第21回福祉社会学会大会　プログラム
2023年7月1日（土）・2日（日）
会場：同志社大学今出川キャンパス至誠館2階・3階

◇第 1 日目　　7 月 1 日（土曜日）

10:30－11:30 研究委員会　【S24】
11:30－12:45 理事会　　【S24】
12:30　　受付開始

13:00－15:30 自由報告／自主企画テーマセッション

［第１部会］　当事者・住民の実践【S23】

司会：深田耕一郎（女子栄養大学）

1. 発達障害とマルチタスク
   ―科学技術研究所で働く発達障害者たち―
   海老田大五朗（新潟青陵大学）
2. 東京都多摩地域における障害者運動の展開
   ―東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー資料から―
   加藤旭人（一橋大学）
3. ハンセン病療養所退所者の集団的実践について
   ―沖縄ハンセン病回復者の会を事例として―
   千歩弥生（中央大学）
4. 地域福祉計画策定過程での「参加の多層化」と、行政によるその運営の一考察
   中野航綺（日本大学）

［自主企画テーマセッション］ Financialization and financial inclusion in public human services【S21】
（公的対人サービスにおけるファイナンシャリゼーションとファイナンシャル・インクルージョン）
※本セッションは英語で行われますが、各報告の概要については司会より日本語訳の提供があります

司会：須田木綿子（東洋大学）

1. 介護保険制度におけるファイナンシャリゼーション
   ― Financialization and financial inclusion in pubic human services I ―
   ○須田木綿子（東洋大学）
   Baorong Guo (University of Missouri-St.Louis,USA)
   Jin Huang (Washington University in St.Louis,USA)
2. Financialization of Social Policies and Services in the United States
   ― Financialization and financial inclusion in pubic human services II ―
   ○Jin Huang (Washington University in St.Louis,USA)
   Baorong Guo (University of Missouri-St.Louis,USA)
   Yuko Suda (Toyo University)
3. Basic Financial Counseling through the IRS VITA Program for Older Adults with Debt
   ― Financialization and financial inclusion in pubic human services III ―
   ○Baorong Guo (University of Missouri-St.Louis,USA)
   Jin Huang (Washington University in St.Louis,USA)
   Yuko Suda (Toyo University)

15:30－15:45　休憩

15:45－17:45 自由報告

［第２部会］ 地域と福祉【S23】

司会：米澤旦（明治学院大学）

1. 廃校活用にみる社会福祉法人の地域貢献

畠山明子（星槎道都大学）

2. 非常勤スクールソーシャルワーカーのジレンマ
—労働の視点で捉えるソーシャルワーク—

藤本啓寛（早稲田大学）

3. ケアリングデモクラシーの実践
—ワーカーズコープにおける意見反映の取り組みから—

遠藤知子（大阪大学）

［第３部会］ 生と死【S21】

司会：株本千鶴（椙山女学園大学）

1. 過疎地域の生存保障システムとその変容
—長野県における「世代別生活充足度調査」結果を中心に—

矢野亮（長野大学）

2. 「高齢者看取り支援事業」の現状と今後の方向性
—市町村アンケート調査の結果から—

白石敦子（日本社会事業大学社会事業研究所）

3. 死と自責の念をアニメ作品のなかで描く制作者の実践
—〈笑い〉の場面と〈涙〉の場面を使いわける技法に注目して—

岡村逸郎（東京家政学院大学）

◇第 2 日目　　7 月 2 日（日曜日）

午前の部

9:00　　受付開始

9:30－12:00 自由報告／20周年企画テーマセッション

［20周年企画テーマセッション］　副田社会学の継承と発展【S22】

司会：平岡公一（東京通信大学）

企画趣旨説明

1. 知的職人の社会学的知の系譜
—副田義也・福祉社会学研究からの学び—

藤村正之（上智大学）

2. 副田先生の社会学
—社会学の「論文を書く」について—

株本千鶴（椙山女学園大学）

3. 副田社会学における「生活構造論」の現代的意義
—後期近代におけるライフ・ポリティクスの解明に向けて—

玉置佑介（明星大学）

［第４部会］ 統計的研究【S23】

司会：吉武理大（松山大学）

1. ステップファミリーと血縁意識
—継／養親に着目して—

久保原大（東京都立大学）

2. 児童虐待は教育達成にも悪影響を与えるのか？

成澤雅寛（一橋大学・日本学術振興会特別研究員PD）

3. 日本と韓国の福祉国家への支持
—ISSPのデータを用いた多母集団同時分析—

池田裕（日本学術振興会）

4. サードプレイスの有無が孤独感・生活満足に与える影響

桜井政成（立命館大学）

［第５部会］　介護【S21】

司会：井口高志（東京大学）

1. 文化・歴史継承とコミュニティ形成の場としての介護施設
—カナダの実践から考える—

二木泉（トロント大学社会学部博士課程）

2. コロナ禍での介護・福祉・看護の事業管理における視点の比較
—感染症下での介護福祉医療の役割分担に注目して—

角能（島根県立大学）・高橋幸裕（尚美学園大学）

3. 訪問介護における「割に合わない労働」
—「移動・待機」の労力とコストから考える—

山根純佳（実践女子大学）

総会・昼食（12:15-13:15）【S22】

午後の部

13:30－17:00 福祉社会学会　20周年シンポジウム「福祉社会学会の20年：回顧と展望」【S22】

司会：上村泰裕（名古屋大学）

コメンテーター：三井さよ（法政大学）・天田城介（中央大学）

［第１部］

企画趣旨説明

1. 家族変動の階層的差異と福祉社会学研究の課題
—家族の変化と子どもをめぐる格差の拡大—

稲葉昭英（慶應義塾大学）

2. ケア論とケア政策研究のあいだ
—福祉社会学研究の蓄積・果実と/を活かすこと—

森川美絵（津田塾大学）

3. 過疎地域からみる地域福祉政策の課題
—過疎内包型地域圏における地域共生社会形成をもとに—

高野和良（九州大学）

［第２部］

パネル・ディスカッション

【大会の参加方法・要旨集および配布資料の入手方法】

・本大会は、対面開催です。また、参加費については事前徴収のみとさせていただき、当日の窓口でのお支払いは受け付けておりませんのでくれぐれもご注意ください。つきましては、ご参加される方は期日までに所定の口座まで参加費をお振り込みいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

・要旨集は、印刷物としては配布いたしません。学会公式サイト（http://www.jws-assoc.jp/）にて大会１カ月前を目途に掲載いたしますので、事前にご自身でダウンロードもしくは印刷してください。なお、ダウンロードしたファイルを読むためのパスワードは、福祉社会学会MLにてお知らせいたします。見逃さないようご注意ください。

・各報告の配布資料は、事前にクラウドにアップされたものについては、事前にご自身でダウンロードもしくは印刷してご持参ください。クラウドへのリンクは、大会前日までにMLにてお知らせいたします。

・なお今大会の会場では通信環境が不安定なため、Wi-Fiをご利用いただくことができません（スマートフォンなどでのモバイルデータ通信はご利用いただけます）。プログラムや予稿集、各報告の配布資料は、事前にダウンロードしてから会場にお越しいただきますよう、お願い申し上げます。

・今回はお弁当を各自でご用意いただく形になります。とりわけ２日目は昼休みに総会が開催されますので、あらかじめご昼食をご持参いただきますようお願い申し上げます（今出川キャンパスには学生食堂もございますが日曜日は閉業しております）。

【会場MAP（下の図の15番の建物が至誠館です）】

同志社大学提供